



読書活動への扉を開く！

No. R6-5

桑村小学校 令和6年5月29日 文責：関口 直

親子読書の会が行われました！

本年度初めての親子読書の会が5月23日（木）に行われました。みなさん、思い思いに自分の持参した本を広げて楽しそうに読んでいました。また、その日は、学校司書が残ってくれていたため、図書室で好きな本を選んで読んでいる人たちもいました。保護者が子供に読み聞かせをしたり、子供同士が本を見せ合ったりと、とても落ち着いた雰囲気の中で時間が過ぎていきました。初回ということで、校長



も読み聞かせをしました。『とびません』『ぶきゅぶきゅぶー』という2冊です。どちらかというと幼稚園から小1くらいまでの幼い子供を対象にした本だったので、聞いてくれた子供たちには少し物足りなかったかもしれません。でも、みんないい表情だったので、とても気持ちよく読み聞かせができました。また、今回、特別に来てくれていた高校生（卒業生）も読み聞かせをしてくれました。人気シリーズの『おしりたんてい』でしたが、子供たちとクイズを解きながら楽しそうに読み聞かせをしていました。このように和気あいあいとした中で、ゆったりとしたひとときを過ごすことができました。これからも続けていきますので、まだ来たことがない方は一度様子を見に来てみてください。次回は、6月27日（木）18:00～20:00です。

読書活動推進リーダーの取り組みが始まりました！

今年度も、読書活動推進リーダーによる取り組みを行っていきます。6年生に希望者を募ったところ、4名の子どもたちが賛同し、協力してくれることになりました。スタートの取り組みとして、5月28日（火）の朝会で、本の紹介をしました。

～読書活動推進リーダーが紹介してくれた本～

『54字の物語』『夢のかなえ方』『南の国へ おもちゃの旅』『5分後に意外な結末』

みんなそれぞれ上手にポイントを絞って、わかりやすく元気に紹介してくれました。そして、なんともう一人、当日来られなかったのですが、桑っちさんが『ピカソの絵本』を紹介してくれました。これからこの5人が、桑村小学校の読書活動を楽しく引っ張っていつてくれることを期待したいと思います。最後に校長からは「学校図書館には1万冊以上の本があり、それは毎日1冊ずつ読んでも、6年間で半分も読むことができないくらいのもので、学校図書館には、ドラえもんやポケットと同じで、いろいろなものがいっぱい見つけれられる場所なので、どんどん活用してほしい」というお願いをしました。本との出会いは、とても大切です。お金がかからないのが何よりの利点なので、自分に合った本と巡り会うために、どんどん借りてほしいと思っています。

